LIXIL
INAX

保証書付
（裏表紙）

# センサー一体形ストール小便器

U-A51MP （壁掛けタイプ・VU 管、VP 管両用・アクエナジー式）
U-A51ML （壁掛けタイプ・鉛管用・アクエナジー式）
U-A31MP （床置きタイプ・VU 管、VP 管両用・アクエナジー式）
U-A31ML （床置きタイプ・鉛管用・アクエナジー式）
U-A51AP （壁掛けタイプ・VU 管、VP 管両用・100V 式）
U-A51AL （壁掛けタイプ・鉛管用・100V 式）
U-A31AP （床置きタイプ・VU 管、VP 管両用・100V 式）
U-A31AL （床置きタイプ・鉛管用・100V 式）

# 取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後も、すぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

## もくじ


安全上のご注意…… 2
各部の名称…… 5
特長…… 7
各機能の説明…… 8
点検と調節…… 12
■陶器フタの取外し・取付け…… 12
■ストレーナーの点検・掃除…… 13
■電磁弁・ダイアフラムの点検・交換…… 14
■各コネクター接続の手順…… 15
■ 100V 式 電源線の再接続方法…… 16
■センサーの交換…… 17
■専用リチウム電池（品番：A-4025）の交換（アクエナジー式の場合）… 18
■切替スイッチの設定…… 19
お手入れについて…… 22
修理を依頼される前に…… 23
仕様…… 25
アフターサービスについて…… 26

# 安全上のご注意

ご使用のまえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## ■用語および記号の説明

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。 |
| ⚠ 注意 | 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。 |
| ⚠ | 「注意しなさい！」（上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。） |
| | 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。） |
| | 「分解してはいけません！」 |
| | 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」 |
| | 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。） |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。**<br>※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。 | **水での丸洗いはおやめください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 |
| **バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 | **コネクタの抜き差しは必ず乾いた手で行ってください。**<br>※ぬれた手で行うと、感電する恐れがあります。 |
| **陶器フタに水をかけないでください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 | **専用リチウム電池の廃棄のしかたを誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガや火災の原因となります。以下のことを守り、地域自治体の定めた方法で正しく廃棄してください。**<br>※電線を切らないでください。<br>※外装のチューブを破らないでください。<br>※コネクターをセロファンテープ等で絶縁してください。 |

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| 【100V 式の場合】<br>**本品が故障や破損した場合、本品への通電を止めて修理を依頼してください。**<br>※そのまま使用すると発火・ショート・感電の原因となります。 | **小便器や陶器フタにヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。**<br>※破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。 |
| 【100V 式の場合】<br>**交流 100V 以外では使用しないでください。**<br>※発火・ショート・感電の原因となります。 | **小便器や陶器フタに熱湯を注がないでください。**<br>※小便器や陶器フタが破損してケガをしたり、漏水のため、家財を汚す原因になることがあります。 |
| 【100V 式の場合】<br>**電源コードが傷んでいるときは使用しないでください。**<br>※発火・ショート・感電の原因となります。 | **小便器内に芳香剤、氷などを置かないでください。**<br>※万一、その芳香剤、氷などが排水路をふさぐと洗浄水が小便器からあふれ、家財を汚す原因となることがあります。 |
| 【100V 式の場合】<br>**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。**<br>※電源コードが破損し、発火・ショート・感電の原因となります。 | **小便器内の汚水がスムーズに流れなくなった場合は、便器排水路や排水管につまりが生じている恐れがあります。そのまま使用すると洗浄水があふれ、家財を汚す原因となることがありますので、掃除を行ってください。** |
| **陶器フタには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 | 【100V 式の場合】<br>**長期間使用しないときは電源を切ってください。**<br>※漏水などの予想しない事故のため、家財を汚す原因になることがあります。 |
| **小便器や陶器フタの上に乗らないでください。**<br>※破損してケガをすることがあります。 | **センサー窓にラベルを貼ったり、汚したりしないでください。**<br>※センサーが作動不良になります。 |
| **陶器フタは安定した場所に置いて作業をしてください。**<br>※陶器フタを不安定な場所に置くと作業中に陶器フタが落ち、ケガをする恐れがあります。 | **給水圧は最低 0.07MPa {0.7kgf/cm²}[ 流動時 ]、最高 0.75MPa {7.6kgf/cm²}[ 静水圧 ] です。**<br>※最低水圧を下回ると十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。最高水圧を上回ると故障の原因となります。 |
| **小便器や陶器フタに衝撃を与えないでください。**<br>※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため、家財を汚す原因になることがあります。 | |

## ■各洗浄機能についての注意

追加洗浄、設備保護洗浄、凍結防止の洗浄機能により、人がいなくても水が勝手に流れることがあります。
これらの機能を解除したい場合は、洗浄機能の現在の設定を変更してください。

## ■専用リチウム電池についての安全上のご注意

下記のことを必ずお守りください。漏液・破裂・発火・発熱・機器の故障の原因となります。

### ⚠ 警告

- 電池を充電しないでください。
- 電池を分解・加工・改造しないでください。
- 電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。
- 電池を強制放電しないでください。
- 付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでくでさい。

### ⚠ 注意

- 電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。
- 電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しのよい、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。

## ■掃除用磁石スイッチ（別売品）使用についての安全上のご注意

### ⚠ 警告

- 磁石を、ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人、およびその他の電子医療機器へは近づけないでください。医療機器の正常な作動を損ない、人命にかかわる恐れがあります。
- 磁石には強い吸引力がありますので、取扱いには十分ご注意ください。磁石と磁石、あるいは磁石と鉄片、ナイフ、ハサミなど磁性体との間で手、指などが挟まれ、怪我の原因となることがあります。また吸引力による強い衝撃で　磁石が割れて飛散し、かけらが目に入る恐れがあります。
- 磁石を電子機器に近づけないでください。計器、制御回路に影響し、事故や故障の原因となります。

### ⚠ 注意

- 磁石をフロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、プリペイドカード　切符、ブラウン管などに近づけないようにしてください。磁石を磁気記憶媒体に近づけると、記録が破壊されることがあります。
- 磁石を腕時計、携帯電話などの精密機器に近づけないようにしてください。機器の故障の原因となります。
- 磁石を加熱したり、温度の高い場所で使用または保管しないようにしてください。
- 磁石を、水、湿気のある場所で使用、保管することは避けてください。

## ■結露の注意

室温と小便器の表面温度差や湿度により、小便器の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。
※ 結露水は床のしみや破損の原因になります。

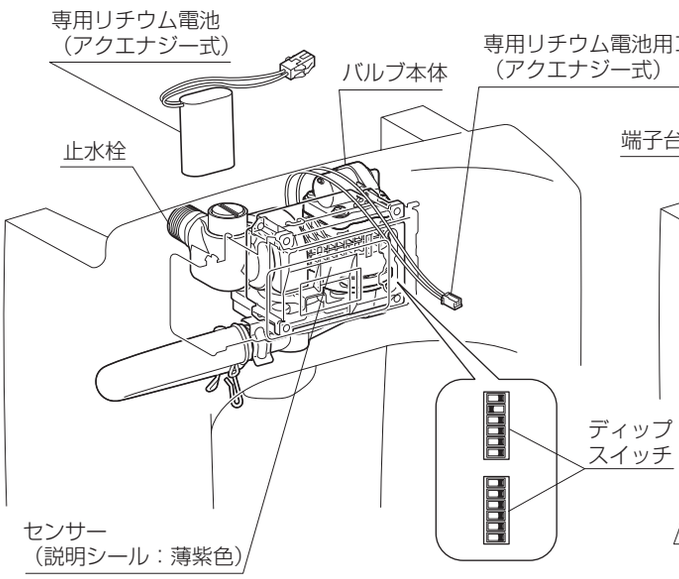
## ■KILAMIC 抗菌商品についての注意

本品は KILAMIC 抗菌商品です。

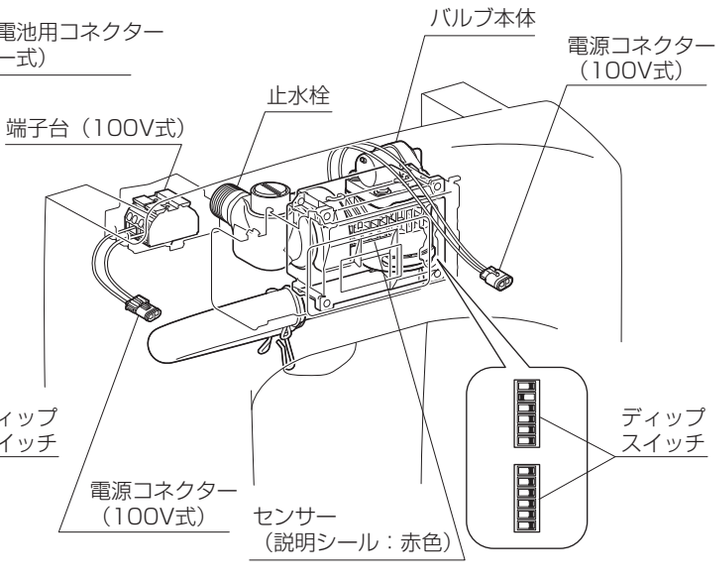
1. KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。
   ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
2. KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。
   したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

# 各部の名称

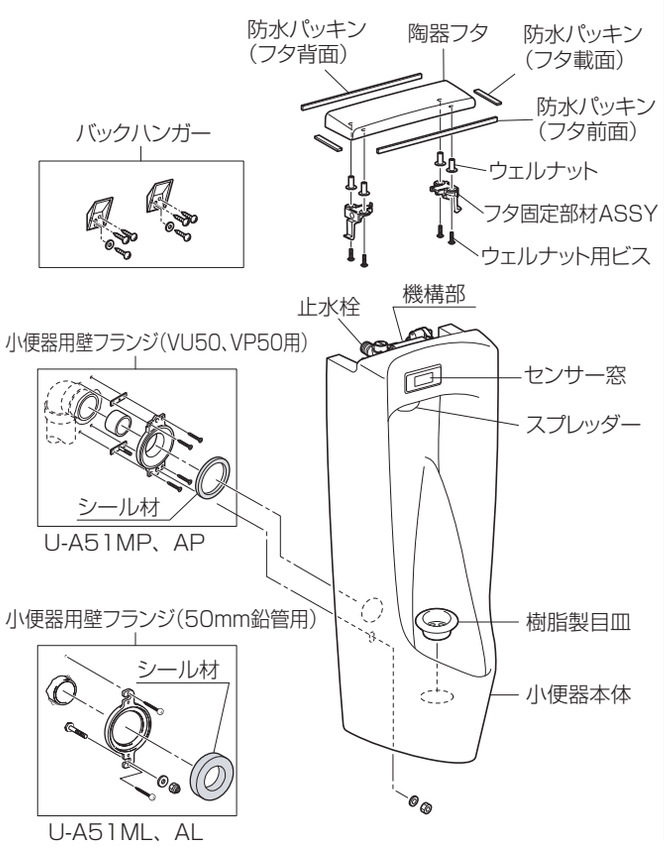
【機構部（アクエナジー式）】



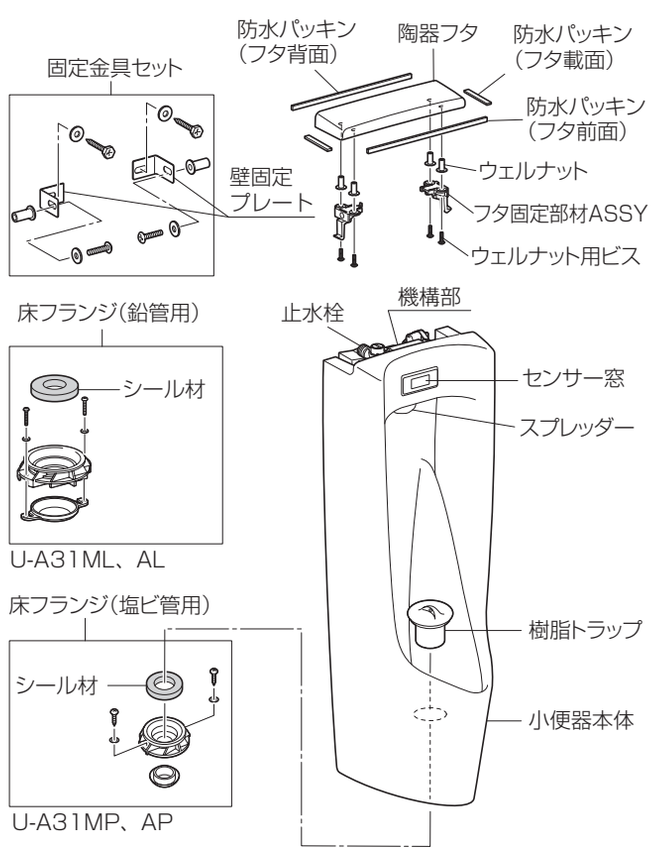

【機構部（100V式）】




【U-A51MP、AP、ML、AL（壁掛けタイプ）】




【U-A31MP、AP、ML、AL（床置きタイプ）】



■バリエーション

| | 排水管仕様 | 100V 式 | アクエナジー式 |
|---|---|---|---|
| 壁掛け（低リップ） | 塩ビ管 | U-A51AP | U-A51MP |
| | 鉛管 | U-A51AL | U-A51ML |
| 床置き | 塩ビ管 | U-A31AP | U-A31MP |
| | 鉛管 | U-A31AL | U-A31ML |

# 特長

## ■センサー一体形で外観すっきり

センサーが小便器に内蔵され、フラッシュバルブなど給水管が露出していないため、外観がすっきりとして掃除が簡単にできます。

## ■電気配線なしの簡単施工【アクエナジー式の場合】

電源不要のため配線施工を必要とせず、施工の手間が大幅に省けます。

## ■掃除しやすい小便器形状

小便器の鉢面がリムの無い形状をしているため、隅々まで掃除しやすくなっています。

## ■使いやすい小便器形状

お子さまから高齢者の方々まで、幅広い年齢層で無理なく使用できるタレ受け高さになっています。
タレ受けを先尖り形状とすることで、使用者が便器に近寄りやすくなり、タレ汚れを防ぎます。

## ■感知能力の高いセンサー

白色と黒色の感知差がほとんどなく、白い服でも黒い服でも同じように確実に感知できます。

## ■高い節水効果

スーパー AI 節水モードで使用頻度・使用時間により、洗浄水量を自動的に調節します。
当社従来システム（OK センサー）と比較して約 75%の節水が可能です。（出荷時はスーパー AI 節水モードに設定）

## ■アクエナジー機能で経済的【アクエナジー式の場合】

水力発電器を内蔵しており、洗浄水のエネルギーを電源回路に蓄えてセンサーの作動電源としますので経済的です。

## ■豊富な洗浄機能

使用者を感知したら、使用する直前に数秒間洗浄して汚れが付きにくくする予備洗浄機能や、使用感を損なわない節水機能など、豊富な洗浄機能を備えています。

## ■いつまでも機器を守る設備保護洗浄

長期間使用しない場合でも一定時間経過すると自動洗浄し、下記の働きを行います。（出荷時は各節水モード対応に設定）

- 自然乾燥による封水切れを防止し、室内に臭いが漏れません。
- 尿石を溜まりにくくして、小便器のつまりを抑制します。（尿石の付着を完全に予防したり、既に付着した尿石を除去する効果はありません。必ず尿石除去の清掃メンテナンスを定期的に行ってください。）
- センサーの充電不足を防止します。（アクエナジー式の場合）

## ■凍結防止機能（出荷時の設定は「しない」）

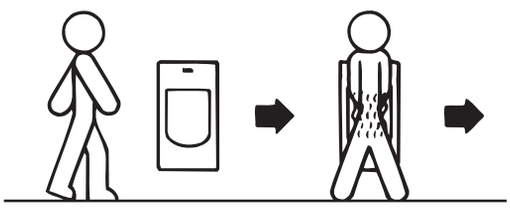
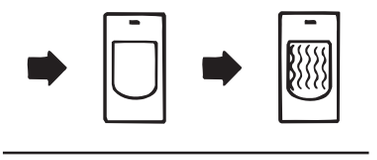
一般地での冬季の冷え込みによる製品の凍結破損を防止するため、外気温を検出し、一定時間間隔で自己吐水し、凍結しにくくします。

## ■お掃除洗浄機能

別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）でセンサー機能を停止させ、センサー感知することなく小便器を掃除することができます。また、掃除の後はセンサー機能復帰と同時に洗浄しますので大変便利です。

# 各機能の説明

洗浄は予備洗浄と本洗浄から構成されています。それぞれの洗浄の役割は下記のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">予備洗浄</th><th colspan="2">本洗浄</th></tr>
<tr><th>即時洗浄</th><th>追加洗浄</th></tr>
<tr><td>人を感知とともに洗浄する<br>  </td><td>使用者が立ち去ると洗浄<br> </td><td>使用者が立ち去った後、予想したタイミングに人が来ない場合、追加で洗浄<br>  </td></tr>
</table>

## ■予備洗浄機能

使用者の感知とともに行う洗浄機能です。
尿の飛沫・付着を防止し、洗浄効果を高めます。また、節水のために予備洗浄をなくすことができます。

**洗浄水量**：約 0.5L

※ 工場出荷時は『予備洗浄する』に設定されています。
詳細は、「切替スイッチの設定」（P.19）を参照ください。

## ■本洗浄機能

使用者が立ち去った後に行う洗浄機能です。
鉢面を洗浄し、トラップ内の封水を入れ替えます。
本洗浄は、即時洗浄と追加洗浄に分けられます。

**〈即時洗浄〉**

使用者が立ち去った後、すぐに行う洗浄です。
使用頻度と使用時間を計測し、次の使用者に尿臭を感じさせないための最低洗浄水量で洗浄します。

**〈追加洗浄〉**

使用者が立ち去った後、次の使用者が予測した時間通りに来なかった場合、追加で行う洗浄です。
※ AI 節水モードの場合 0.25 ～ 8 時間、スーパー AI 節水モードの場合 0.25 ～ 2 時間の範囲で洗浄します。
※ 工場出荷時は『スーパー AI 節水モード』に設定されています。本洗浄機能の設定を変更したい場合は、「切替スイッチの設定」（P.19）を参照してください。

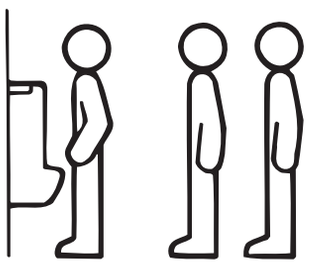
## ■洗浄モードごとの洗浄水量

| | 即時 | 追加 |
|---|---|---|
| スーパー AI | 0.8 ～ 2L | 0 ～ 1.2L |
| AI | 2 ～ 4L | 0 ～ 2L |
| 固定 | 4L | – |

## ● スーパー AI 節水モードとは

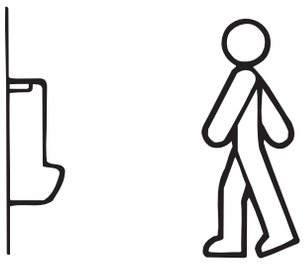
仕様頻度・使用時間により、洗浄水量を調節して節水効果を高める機能です。
前の使用者までの使用頻度から、次の人が使用するまでの空き時間を予測します。

使用頻度が高い



次の人がすぐ来る

使用頻度が低い



次の人がなかなか来ない

小便器の使用時間から、小便量を推定します。

使用頻度が高い

小便量が多い

使用頻度が低い

小便量が少ない

次の使用者が尿臭を感じないための最小限の水量で洗浄します。

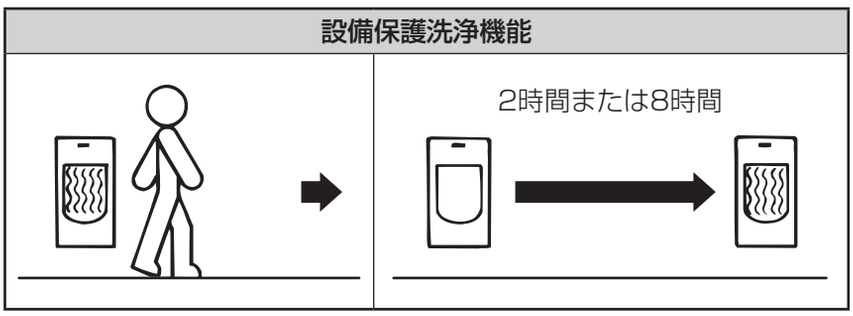
**洗浄水量**：0.8 ～ 2L で自動調節 (AI 節水モードの場合は 2 ～ 4L)

※予測した時間までに次の人が来なければ、追加洗浄を行い清潔性を保ちます。(0 ～ 1.2L)
(AI 節水モードの場合は 0 ～ 2L)

洗浄水を吐出

## ■設備保護洗浄機能

トラップの封水切れ防止および配管の尿石付着抑制のため、最後に使用されてから 2 時間または 8 時間経過すると自動的に 2L または 4L の洗浄を行う機能です。




| 本洗浄 | 洗浄間隔 | 洗浄水量 |
|---|---|---|
| スーパー AI 節水モード | 2 時間 | 2L |
| AI 節水モード | 8 時間 | 4L |
| 固定モード | 8 時間 | 4L |

※ この他、本洗浄に関係なく、2 時間毎 4L、24 時間毎 4L、「しない」にも設定できます。ただし、「24 時間毎 4L」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなります。また、尿臭を感じる恐れがあります。

## ■凍結防止機能

一般地での冬季の冷え込みによる製品の凍結破損を防止するため、外気温を検出し、一定時間間隔で自己吐水し、凍結しにくくします。

※ 工場出荷時は「凍結防止しない」に設定されていますが、変更する場合には、「切替スイッチの設定」（P.19）を参照してください。

※ 寒冷地には対応しておりません。寒冷地で使用された場合、凍結により破損する恐れがあります。

## ■お掃除洗浄機能

別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）を使ってセンサー機能を停止させ、センサー感知することなく掃除でき、ワンタッチで起動できます。

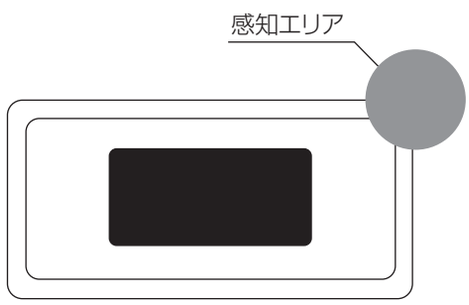
※センサー機能停止中は正面の赤色ランプが点滅します。

掃除用磁石スイッチ
（品番：A-3996）

掃除用磁石スイッチをセンサーに 1 秒以上近づけると、本洗浄を 1 回行った後センサー機能が停止します。近づける位置は右図（あみ掛け部）を参照ください。

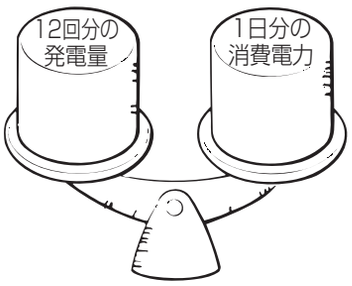
※機能停止 4 分後、自動的に洗浄を 1 回行って復帰します。

※ 4 分以内にもう一度掃除用磁石スイッチを近づけると本洗浄を 1 回行って復帰します。このとき感知中の場合は、復帰時の本洗浄 1 回はキャンセルされます。



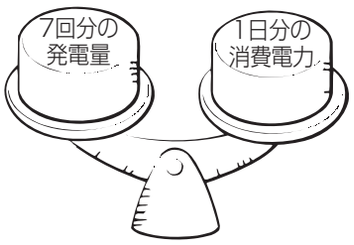
## ■アクエナジー機能（アクエナジー式の場合）

本品は洗浄水を利用した発電器を内蔵しており、発電されたエネルギーは電源回路に蓄えられます。その発電量は次のとおりです。



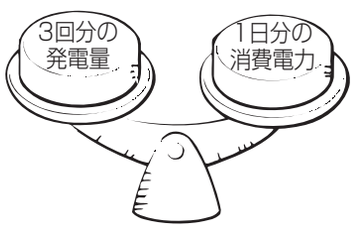

スーパーAIモード節水の場合

※ 流量12L/分で、1回につき1.0Lの洗浄をした場合です。




AI節水モードの場合

※ 流量12L/分で、1回につき2.4Lの洗浄をした場合です。




固定モードの場合

※ 流量12L/分で、1回につき4Lの洗浄をした場合です。

長期間使用しなかったり、流量・水量が少ない場合は、電源回路の電圧が低下し、充電不足の状態になります。この場合、自動的に感知の速さがゆっくりになります。また、設備保護洗浄の時間間隔や洗浄水量も自動的に切り替わり、充電量を確保して作動を続けます。

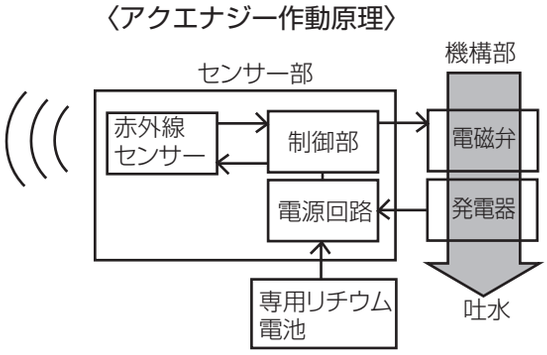
| 本洗浄の設定 | 項目 | 充電十分 | 充電不足 |
|---|---|---|---|
| スーパー AI 節水モード | 1 日の使用回数 | 12 回以上 | 9 回未満 |
| | 本洗浄の水量 | 0.8 ～ 2L | 6L |
| | 設備保護洗浄の間隔 | 2 時間 | |
| | 設備保護洗浄の水量 | 2L | 6L |
| AI 節水モード | 1 日の使用回数 | 7 回以上 | 6 回未満 |
| | 本洗浄の水量 | 2 ～ 4L | 6L |
| | 設備保護洗浄の間隔 | 8 時間 | 2 時間 |
| | 設備保護洗浄の水量 | 4L | 6L |
| 固定モード | 1 日の使用回数 | 3 回以上 | 2 回未満 |
| | 本洗浄の水量 | 4L | 6L |
| | 設備保護洗浄の間隔 | 8 時間 | 2 時間 |
| | 設備保護洗浄の水量 | 4L | 6L |
| 感知の速さ | | はやい | ゆっくり |
| 専用リチウム電池の交換の目安 | | 4 年※ | |

※ 使用回数が十分であれば、消費電力は自己発電で補充されるため、専用リチウム電池はほとんど消耗しません。ただし、専用リチウム電池の使用推奨期限は4年ですので、この期間で交換してください。「専用リチウム電池（品番：A-4025）の交換（アクエナジー式の場合）」（P.18）を参照してください。

流量が適正範囲 (12 ～ 16L/ 分 ) を下回ると発電できませんので、専用リチウム電池を消耗し作動を継続します。この場合、専用リチウム電池の交換の目安は、1 日 100 回の使用条件で約 1 年です。

流量を適正範囲内に維持するよう、管理が必要です。
・ストレーナーの点検・掃除
※「ストレーナーの点検･掃除」(P.13) を参照ください。

〈アクエナジー作動原理〉




アクエナジー：作動電源を水力発電器で供給する方式

# 点検と調節

点検や調節は、（100V 式の場合は元電源を切り）、陶器フタを外してから行ってください。

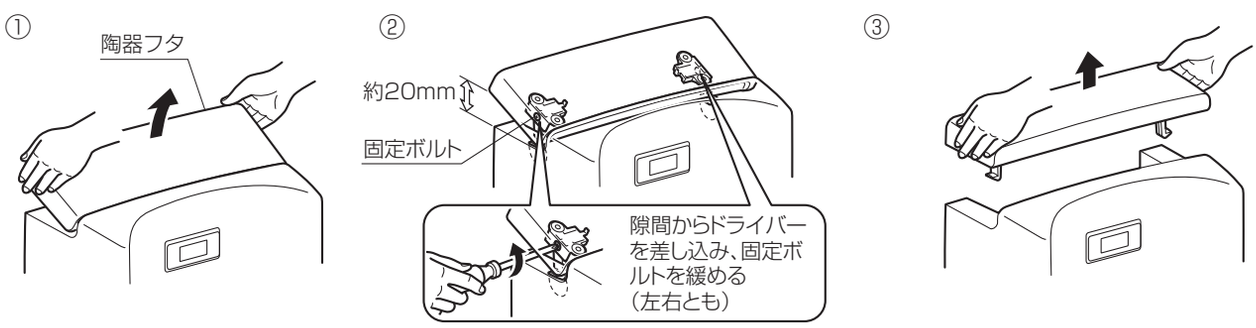
## ■陶器フタの取外し・取付け

**⚠ 注意**

**陶器フタは安定した場所に置いて作業をしてください。**
※陶器フタを不安定な場所に置くと作業中に陶器フタが落ち、ケガをする恐れがあります。
**陶器フタを持ち上げる際はゆっくり持ち上げてください。**
※勢いよく持ち上げると、陶器フタが破損してケガをする恐れがあります。
**固定ボルトの締め付けは、小便器と陶器フタの中心を合わせ、中心がずれないよう締め付けてください。**
※片側のみ締め付けすぎると陶器フタと小便器にズレが生じることがあります。
**固定ボルトをゆるめすぎないでください。**
※ゆるめすぎると陶器フタが固定されず外れる可能性があります。

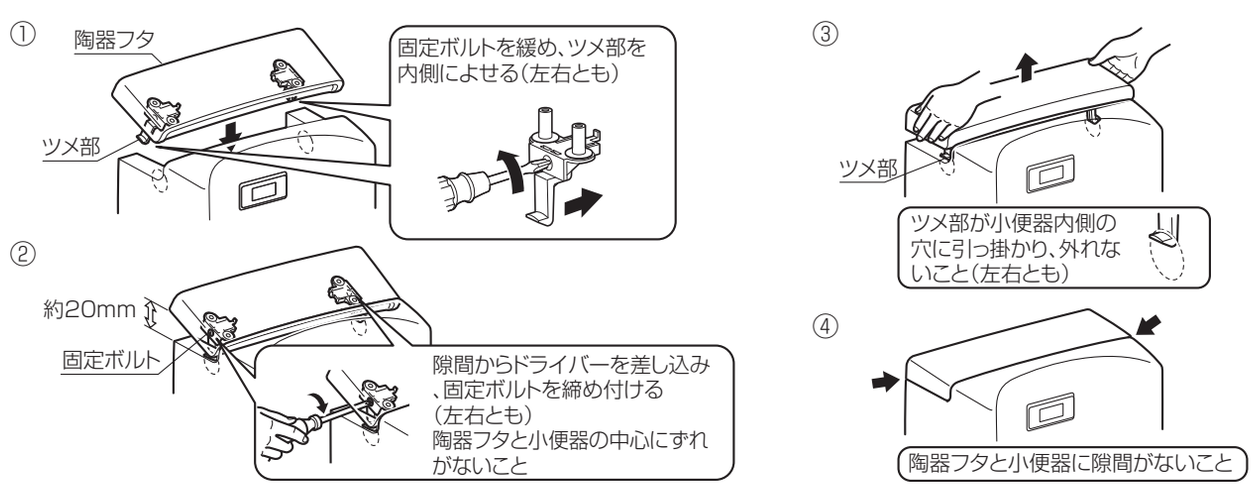
### 取外しかた

① 陶器フタを持ち上げます。
② 陶器フタと小便器の隙間を覗き込み、間に見える固定ボルトを緩めてください。
③ 陶器フタを持ち上げて外します。
※陶器フタを落とさないように、必ず両手で持ち上げてください。



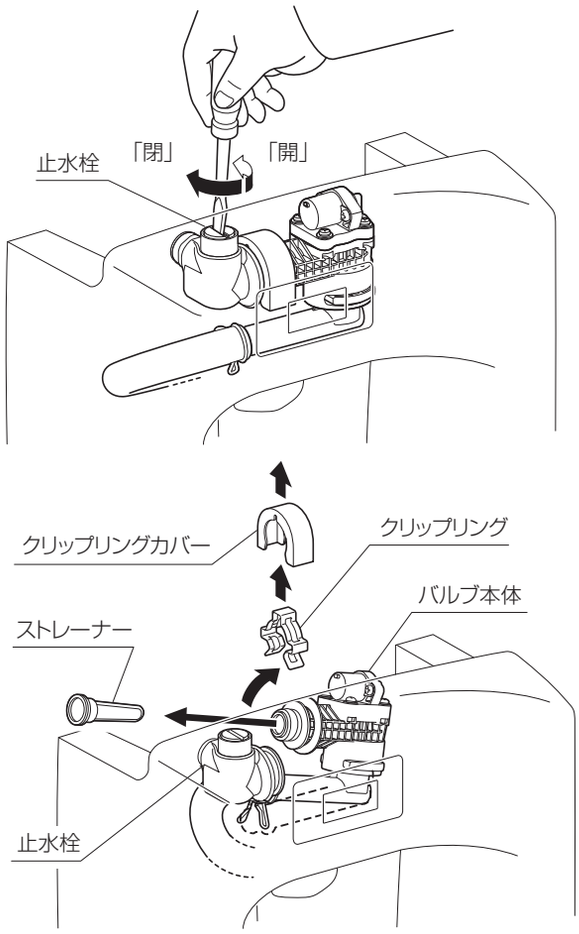

### 取付けかた

① ツメ部が内側によっていることを確認して、陶器フタの前部を下げ、後部を上げた状態でかぶせます。
② 陶器フタと小便器の隙間を覗き込み、陶器フタと小便器の中心がずれないように間に見える固定ボルトを締め付けてください。
③ 陶器フタを持ち上げても、浮くが外れないことを確認します。
④ 陶器フタを小便器との隙間がないようかぶせます。



## ■ストレーナーの点検・掃除

① 止水栓を右に回して閉めます。
② 一度センサーを感知させ、止水している事を確認してください。
③ クリップリングカバー、クリップリングを外し、止水栓からバルブ本体を外します。
※ 止水栓とバルブ本体から残水がこぼれる場合があります。雑巾などを使用して端子台や、センサーへ水がかからないように注意してください。
※ クリップリングが脱落しないように注意してください。
④ バルブ本体についているストレーナーを引き抜きゴミ等を、水洗いして取り除きます。
⑤ 逆の手順でバルブ本体を取り付けます。
※ クリップリング、クリップリングカバーを取り付けた後、動かして確実に接続されたことを確認してください。
⑥ 止水栓を左に回して全開にします。
⑦ センサーを感知させ、洗浄を行いバルブ本体接続部に漏水がないことを確認してください。



## ■電磁弁・ダイアフラムの点検・交換

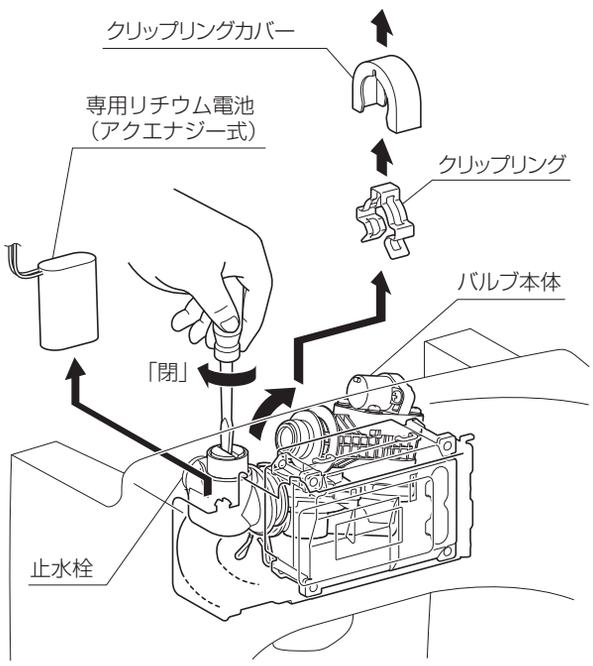
### 取外し

① 止水栓を右に回して閉め、水を止めます。

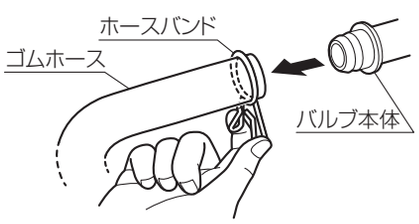
② 一度センサーを感知させ、止水している事を確認してください。

③（100V 式の場合）
元電源を切ります。
（アクエナジー式の場合）
専用リチウム電池を外します。

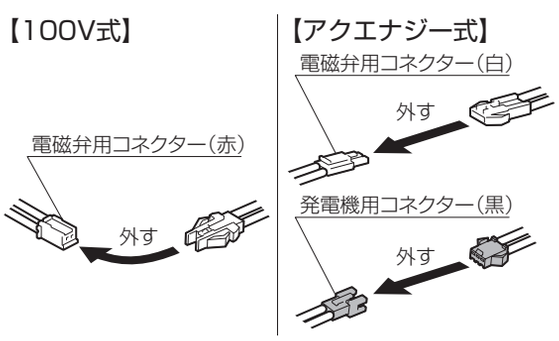
④ クリップリングカバー、クリップリングを外し、止水栓からバルブ本体を外します。



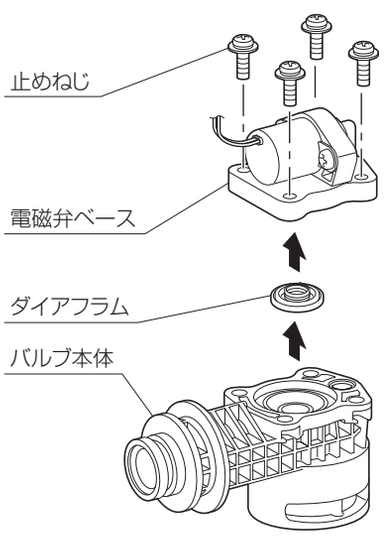

⑤ ホースバンドを開き、バルブ本体からゴムホースを外します。




⑥（100V 式の場合）
電磁弁用コネクター（赤）を外します。
（アクエナジー式の場合）
電磁弁用コネクター（白）、発電器用コネクター（黒）を外します。




⑦ 電磁弁の止めねじを 4 本外して、電磁弁とダイアフラムを取り外します。



**点検・交換**

① ダイアフラムの小穴にゴミ等がつまっていると電磁弁が正常に動作しないことがあります。その場合は、息を吹きかけるなどしてゴミを取り除いてください。

② それでも動作が正常に戻らない場合は、ダイアフラム、または電磁弁を交換してください。

※ ダイアフラムの小穴の位置は機能に関係ありません。

※ ダイアフラムの表裏を間違えないようにしてください。

**取付け**

① 取外しと逆の手順で取り付けます。

※ 止めねじを締める際は、均等に締まるよう締めた所から遠い順番に締めます。

※ クリップリング、クリップリングカバーを取り付けた後、動かして確実に接続されたことを確認してください。

② 止水栓を左に回して全開にします。

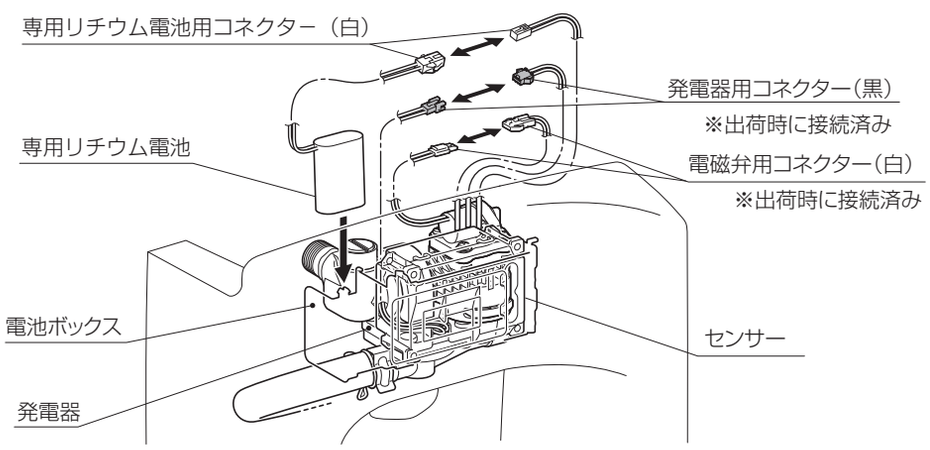
③ センサーを感知させ洗浄を行い、バルブ本体接続部やダイアフラム部に漏水がないことを確認してください。

## ■各コネクター接続の手順

**【アクエナジー式】**

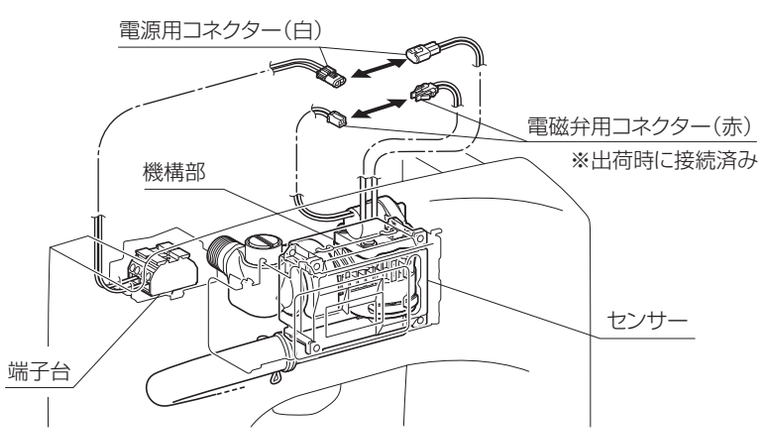
① センサーからの専用リチウム電池用コネクター（白）と付属品の専用リチウム電池のコネクター（白）を接続します。

② 専用リチウム電池を陶器フタ内の電池ボックスに入れ込みます。




**【100V 式】**

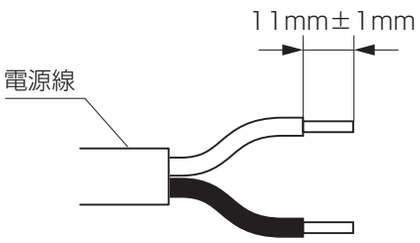
① センサーからの電源用コネクター（白）と端子台からの電源コネクター（白）を接続します。

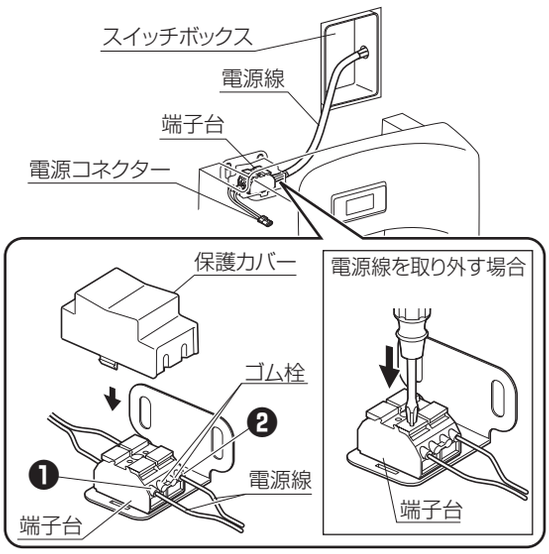



※ 電源用コネクターを接続しても作動しない場合は、電源線と端子台が接続されていることを確認してください。
接続されていない場合は、「100V 式電源線の再接続方法」（P.16）を参照し、端子台と電源線を接続してください。

## ■100V 式 電源線の再接続方法

① 元電源を切ります。
② 端子台の保護カバーを取り外します。
③ 電源線を取り外す場合は端子台のボタンをドライバーなどで押し、電源線を取り外します。
④ 電源線を取り出し、端子台の 2 箇所（❶と❷）に接続します。
⑤ 端子台の保護カバーを取り付けます。
※ 先端の被覆を 11mm むけている事を確認してください。




**ご注意**

電源線接続は電気工事になりますので、電気工事店にご依頼ください。

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **電源線を取り外す場合は、必ずドライバーで端子台上面の十字マーク部分を押して取り外してください。**<br>※電源コードが破損し、発火・ショート・感電の原因となります。 | ❗ |
| **万一の際の危険防止のため、電源の一次側に 1 ヶ所、漏電しゃ断器を設置してください。**<br>※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。 | ❗ |
| **製品の端子台を使って渡り配線をしないでください。**<br>※発火・ショート・感電の原因となります。 | 🚫 |

## ■センサーの交換

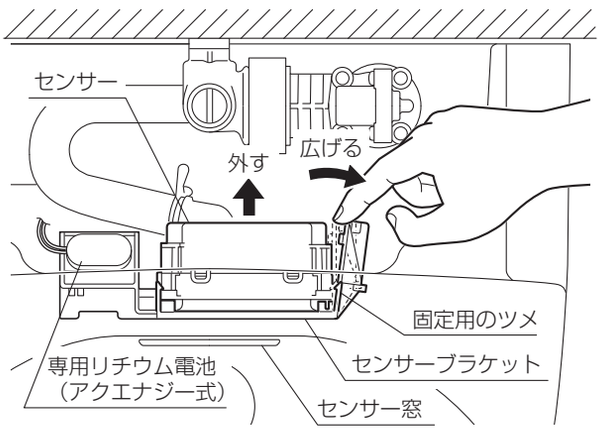
センサーはセンサー窓裏側のセンサーブラケットに取り付けられています。

### 取外しかた

① センサー側の各コネクターを外します。
※「各コネクター接続の手順」（P.15）を参照してください。

② (アクエナジー式の場合のみ)
センサーから専用リチウム電池を取り外します。
※「専用リチウム電池（品番：A-4025）の交換（アクエナジー式の場合)」(P.18) を参照してください。

③ 右図のように、センサー固定用のツメを広げてセンサーを取り外します。




### 取付けかた

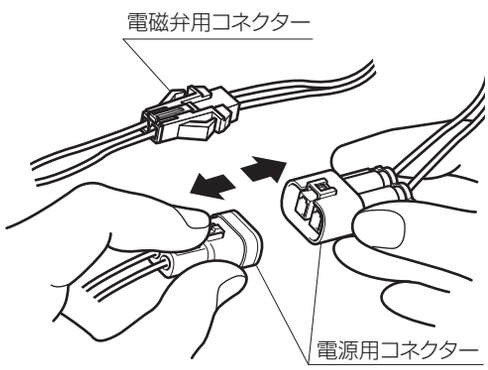
取外しかたの逆の手順でセンサーを取付けます。

※ センサーには上下があります。上下逆に取り付けないようにセンサー記載の上マークを上にして取り付けてください。

### 電源リセットのしかた ( 電源コネクター抜き差し ) (100V 式の場合)

右図のように、電磁弁用コネクターが接続された状態で、電源用コネクターを外し、5 秒以上経過させてもう一度接続します。これで電源がリセットされます。

※ 元電源を入れなおすことでも電源がリセットされます。

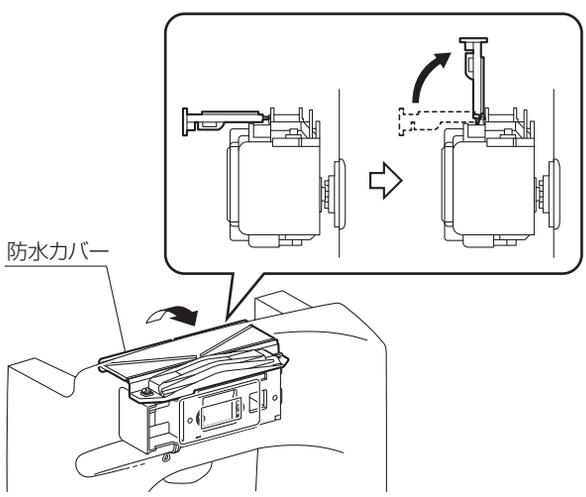



### 防水カバーについて

機構部作業時に作業しづらい場合は、防水カバーを手で開いて作業してください。

**ご注意**

- コネクタ・コードは強く引っ張らないようにしてください。
  ※強く引っ張るとコードが断線する恐れがあります。
- コネクタ・コードは作業後、防水カバー内に収めてください。
  ※水がかかった場合に故障する恐れがあります。



## ■専用リチウム電池（品番：A-4025）の交換

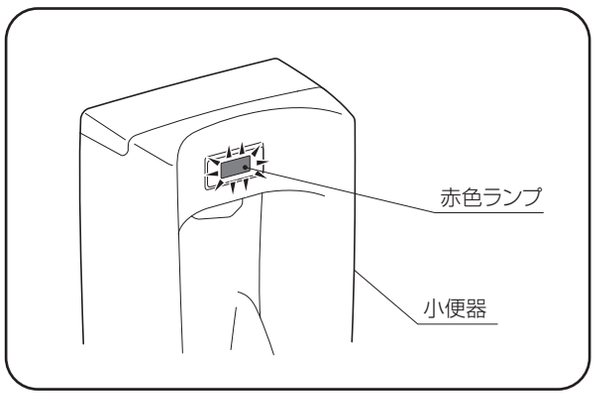
**（アクエナジー式の場合）**

専用リチウム電池は、交換時期になりますと、センサーの赤色ランプが 1 秒間隔（電池切れ間際は 2 秒間隔）で点滅します。その場合は、専用リチウム電池をセンサー側のコネクターから外して交換してください。

センサーの赤色ランプが点滅していない場合でも、正常に動作しない場合は専用リチウム電池が切れている可能性がありますので、電池の交換をしてください。

※ 専用リチウム電池は、電池切れにならなくても、4 年を目安に交換してください。

※ 専用リチウム電池の保証期間は 2 年です。



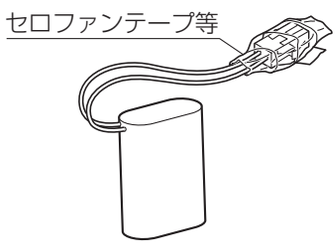

**⚠ 警告**

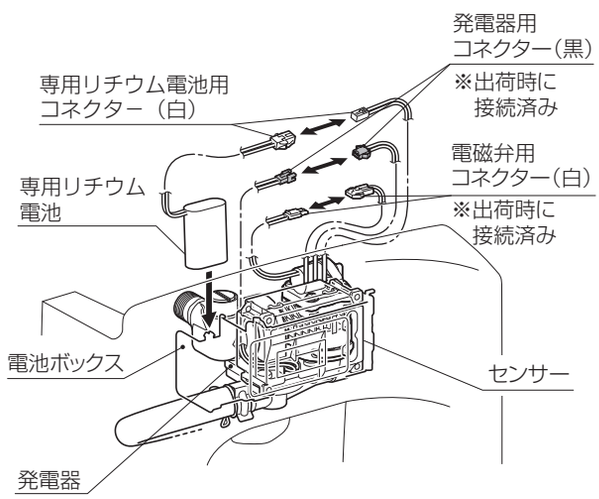
**専用リチウム電池の廃棄のしかたを誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガや火災の原因となります。以下のことを守り、地域自治体の定めた方法で正しく廃棄してください。**

※電線を切らないでください。

※外装のチューブを破らないでください。

※コネクターをセロファンテープ等で絶縁してください。




| | 電池残量目安 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 十分 | 少ない | なくなる間際 | なし |
| | 1.9V 以上 | 1.9V ～ 1.5V | 1.5V ～ 1.0V | 1.0V 以下 |
| **赤ランプ点滅** | しない | 1 秒間隔 | 2 秒間隔 | しない |
| **洗浄** | できる | できる | できない | できない |

## ■切替スイッチの設定

切替スイッチは工場出荷時に次のように設定されています。
・予備洗浄 …… する
・本洗浄 …… スーパー AI 節水モード（0.8 ～ 2L）
・設備保護洗浄 …… 各節水モード対応
・凍結防止 …… しない
・感知距離 …… 400mm
・初期洗浄（100V 式の場合）… する
・予備洗浄確定時間 …… 1 秒

洗浄モードは必要に応じて変更することができます。各設定の選択可能な内容は以下に示すとおりです。

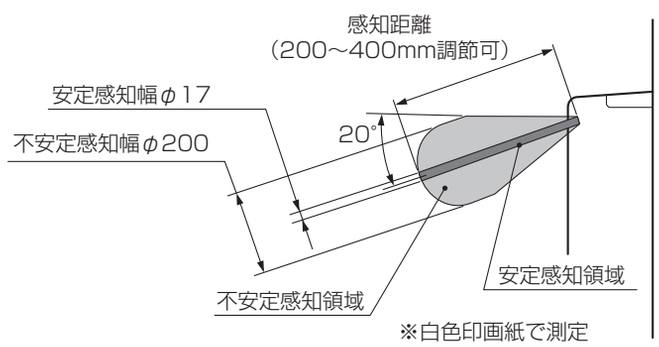
### 予備洗浄の設定
0.5L の水量を流す「予備洗浄する」、「予備洗浄しない」のいずれかに設定できます。

### 本洗浄の設定
0.8 ～ 2L の水量を流す「スーパー AI 節水モード」、または従来と同じ 2 ～ 4L の水量を流す「AI 節水モード」、常に 4L の水量を流す「固定モード」のいずれかに設定できます。

### 設備保護洗浄の設定
「各節水モード対応」、「24 時間毎 4L」、「しない」、「2 時間毎 4L」のいずれかに設定できます。「各節水モード対応」のときの洗浄仕様は以下の通りです。
・スーパー AI 節水モード …2 時間連続して使用者がいない場合、自動的に 2L 洗浄
・AI 節水、固定モード ……8 時間連続して使用者がいない場合、自動的に 4L 洗浄
※「24 時間毎 4L」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなります。また尿臭を感じる恐れがあります。よって、「各節水モード対応」での使用をおすすめします。

### 凍結防止機能の設定
「凍結防止しない」、「凍結防止する」のいずれかに設定できます。「凍結防止する」に設定した場合、冬季一般地での冷え込みによる製品の凍結破損を防止するため、外気温を検出し、一定時間間隔で自己吐水し、凍結しにくくします。
※ 寒冷地には対応しておりません。寒冷地で使用された場合、凍結により破損する恐れがあります。

### 感知距離の設定
「200mm」、「300mm」、「350mm」、「400mm」のいずれかに設定できます。
※ 感知エリアは右図のイメージです。
※ 100V 式の場合のみ、感知表示ランプ（赤色ランプ）で感知の有無を確認することができます。




### 初期洗浄の設定（100V 式の場合のみ）
電源を入れたすぐに本洗浄の設定水量を流す「初期洗浄する」、「初期洗浄しない」のいずれかに設定できます。

### 予備洗浄確定時間の設定
センサーが感知してから予備洗浄が流れるまでの時間を「1 秒」、「2 秒」のいずれかに設定できます。

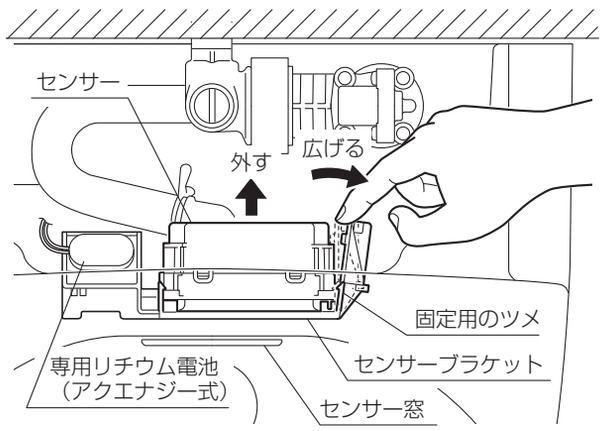
### 設定変更のしかた

センサーはセンサー窓裏側のセンサーブラケットに取り付けられています。

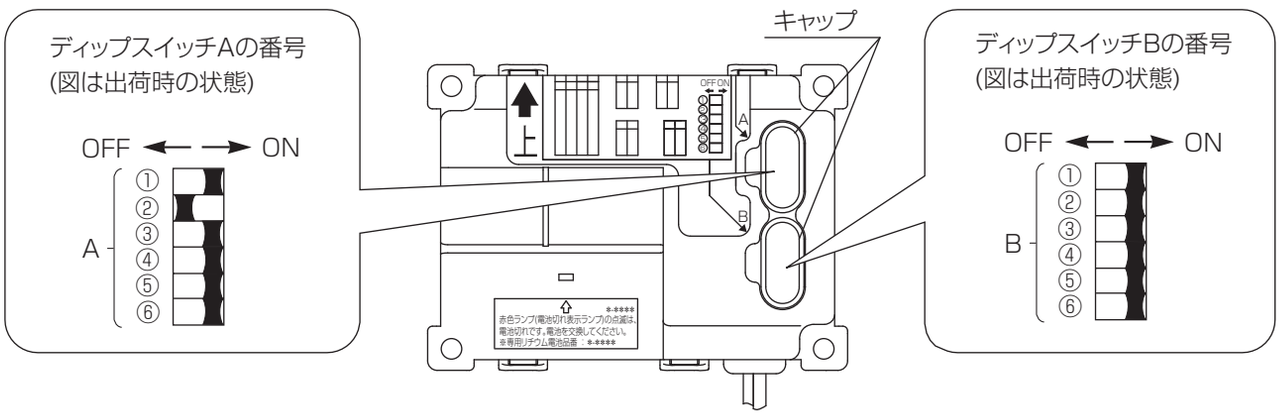
① センサー側の各コネクターを外します。
※「各コネクター接続の手順」（P.15）を参照してください。

② **（アクエナジー式の場合のみ）**
センサーから専用リチウム電池を取り外します。
※「専用リチウム電池（品番：A-4025）の交換（アクエナジー式の場合）」（P.18）を参照してください。

③ 右図のように、センサー固定用のツメを広げてセンサーを取り外します。



④ センサーの表側にあるキャップを外し、小型のマイナスドライバー等でディップスイッチを左右に ON・OFF させて設定を変更します。各機能とそれに対応するスイッチの位置は下表に示すとおりです。




| | | 機　能 | 動　作 | |
|---|---|---|---|---|
| ディップスイッチA | スイッチ① | 予備洗浄の設定 | ① | 予備洗浄する |
| | | | ① | 予備洗浄しない |
| | スイッチ②<br>③ | 本洗浄の設定 | ②<br>③ | AI節水モード |
| | | | ②<br>③ | スーパーAI節水モード |
| | | | ②<br>③ | 機能なし(設定しないでください) |
| | | | ②<br>③ | 固定モード |
| | スイッチ④<br>⑤ | 設備保護洗浄の設定 | ④<br>⑤ | 各節水モード対応 |
| | | | ④<br>⑤ | 設備保護洗浄しない |
| | | | ④<br>⑤ | 24時間毎4L |
| | | | ④<br>⑤ | 2時間毎4L |
| | スイッチ⑥ | 凍結防止の設定 | ⑥ | 凍結防止しない |
| | | | ⑥ | 凍結防止する |

| | | 機　能 | 動　作 | |
|---|---|---|---|---|
| ディップスイッチB | スイッチ①<br>② | 距離感知の設定 | ①<br>② | 400mm |
| | | | ①<br>② | 350mm |
| | | | ①<br>② | 300mm |
| | | | ①<br>② | 200mm |
| | スイッチ③ | 初期洗浄の設定<br>(100V式の場合のみ) | ③ | 初期洗浄する |
| | | | ③ | 初期洗浄しない |
| | スイッチ④ | 予備洗浄確定時間の設定 | ④ | 感知から予備洗浄までの時間1秒 |
| | | | ④ | 感知から予備洗浄までの時間2秒 |

※ディップスイッチBの⑤と⑥は使用しません。

⑤ 設定が終わったら、外したキャップをつけた後、取外しの逆の手順でセンサーを元の位置に取り付けます。

※ センサーには上下があります。上下逆に取り付けないようにセンサー記載の上マークを上にして取り付けてください。

# お手入れについて

普段のお手入れは、次のことに注意してください。

## ■樹脂製…着脱トラップ、目皿、スプレッダー、センサープレート部

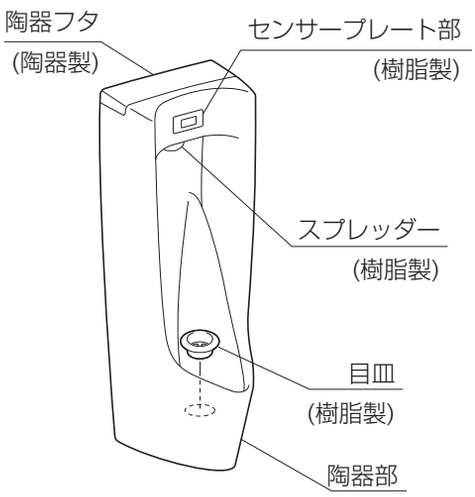
汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水で布を湿らすか、石けん水を少し布に付けてふき、後はからぶきしてください。
また、次のものは使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。
また着脱トラップは正しい向きに戻してください。（図 ※ 1 参照）
・クレンザー、磨き粉などの粒子の粗い洗剤
・酸性洗剤、塩素系漂白剤
・ナイロンたわし、ブラシなど
・シンナー、ベンジンなどの溶剤

| ⚠ 警告 | ⚠ 注意 |
|---|---|
| **陶器フタやセンサープレート部周辺に水をかけないでください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 | **陶器フタやセンサープレート部周辺には、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。**<br>※発火・ショート・感電・故障の原因となります。 |

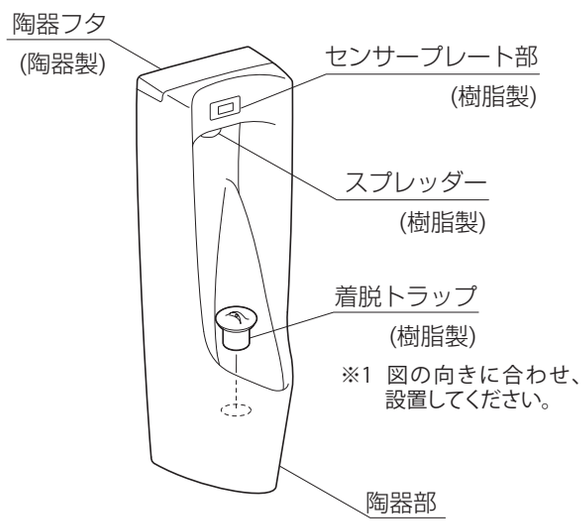
## ■陶器製…小便器部、陶器フタ

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
※熱湯は使用しないでください。破損の恐れがあります。
※ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は使用しないでください。表面が侵されます。
次のものは使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。
・金属たわし、硬いブラシ、硬い布
・クレンザー、磨き粉などの粒子の粗い洗剤

【U-A51（壁掛けタイプ）】




【U-A31（床置きタイプ）】




## ■尿石の除去について

本製品は設備保護洗浄機能によって、尿石の付着を抑制する効果はありますが、尿石の付着を完全に予防したり既に付着した尿石を除去する効果はありません。
必ず尿石除去の清掃メンテナンスを定期的に行ってください。
※尿石の除去は市販の尿石除去剤等をご使用ください。

# 修理を依頼される前に

故障かなと思ったら修理を依頼される前に、次の内容を点検し、調節してください。
それでも故障が直らない場合は、**元電源（100V 式の場合）を切り、止水栓を閉めてから**お近くの取扱店または当社支社やお客さま相談センター等へお問い合わせください。

| 現象 | 点検内容 | 点検結果 | 処置方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 水が出ない | 断水中ではありませんか？ | 断水している。 | 回復するまで待つ。 | － |
| | 止水栓が開いていますか？ | 閉まっている。 | 止水栓を全開にする。 | － |
| | ストレーナーにゴミ等が付着していませんか？ | 付着している。 | ゴミ等を除去する。 | ストレーナーの点検・掃除（P.13） |
| | センサー表面は汚れていませんか？ | 汚れている。 | 汚れをふき取る。 | お手入れについて（P.22） |
| | センサー前（感知範囲）に障害物はありませんか？ | 障害物がある。 | 障害物を取り除く。<br>感知距離を調整する。 | 切替スイッチの設定（P.19） |
| | 電磁弁コネクターは接続されていますか？ | 接続されていない。 | 電磁弁コネクターを接続する。 | 電磁弁・ダイアフラムの点検・交換（P.14） |
| | 電磁弁コードは断線していませんか？または、電磁弁が故障していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 断線している。<br>故障している。 | 電磁弁を交換する。 | |
| | センサー側の電磁弁コードは断線していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 断線している。 | センサーを交換する。 | センサーの交換（P.17） |
| | （100V 式）<br>端子台と電源線は接続されていますか？ | 接続されていない。 | 電気工事店に依頼し、端子台と電源線を接続する。 | 100V 式 電源線の再接続方法（P.16） |
| | （100V 式）<br>元電源から電力が供給されていますか？ | されていない。 | 元電源を ON にする。 | － |
| | （100V 式）<br>停電はしていませんか？ | 停電している。 | 停電が回復するまで待つ。 | － |
| | （100V 式）<br>電源コネクターは断線していませんか？ | 断線している。 | 電源コネクターを交換する。 | センサーの交換（P.17） |
| | （100V 式）<br>センサー側の電源線は断線していませんか？または、センサーが故障していませんか？ | 断線している。<br>故障している。 | センサーを交換する。 | |

| 現象 | 点検内容 | 点検結果 | 処置方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 水が出ない | (アクエナジー式)<br>センサーに専用リチウム電池は正しく接続されていますか？ | 正しく接続されていない。 | 専用リチウム電池を正しく接続する。 | 専用リチウム電池(品番：A-4025）の交換（アクエナジー式の場合）(P.18) |
| | (アクエナジー式)<br>専用リチウム電池の電源線は断線していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 断線している。 | 専用リチウム電池を交換する。 | |
| | (アクエナジー式)<br>センサーの赤色ランプ（電池切れ表示ランプ）が１秒、または２秒おきに点滅していませんか？ | １秒、または２秒おきに点滅している。<br>(電池交換時期です。) | | |
| | (アクエナジー式)<br>専用リチウム電池の電池切れではありませんか？ | センサーの赤ランプは点滅していないが、正常に動作しない。 | | |
| | (アクエナジー式)<br>センサー側の電源線は断線していませんか？または、センサーが故障していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 断線している。<br>故障している。 | センサーを交換する。 | センサーの交換<br>(P.17) |
| 水が止まらない | ダイアフラムにゴミがかんでいませんか？ | ゴミがかんでいる。 | ダイアフラムのゴミを取り除く。 | 電磁弁・ダイアフラムの点検・交換<br>(P.14) |
| | ダイアフラムの小穴にゴミがつまっていませんか？ | 小穴にゴミがつまっている。 | ダイアフラムの小穴のゴミを取り除く。<br>またはダイアフラムを交換する。 | |
| | 電磁弁が故障していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 故障している。 | 電磁弁を交換する。 | |
| | センサーが故障していませんか？<br>※正常品の部材と交換して確認する。 | 故障している。 | センサーを交換する。 | センサーの交換<br>(P.17) |
| 流量が少ない | 止水栓を閉め過ぎてはいませんか？ | 閉め過ぎている。 | 止水栓を全開にする。 | － |
| | ストレーナーにゴミ等が付着していませんか？ | 付着している。 | ゴミ等を除去する。 | ストレーナーの点検・掃除（P.13） |
| 水が勝手に流れる | 追加洗浄、設備保護洗浄、凍結防止の洗浄のいずれかの機能が働いています。これらの機能を解除したい場合は、洗浄機能の現在の設定を変更してください。 | | | 各機能の説明（P.8）<br>切替スイッチの設定<br>(P.19) |

# 仕様

| 品番 | U-A51MP | U-A51ML | U-A51AP | U-A51AL | U-A31MP | U-A31ML | U-A31AP | U-A31AL |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小便器 | 壁掛けタイプ | | | | 床置きタイプ | | | |
| 商品寸法 | 370( 横 ) × 420( 縦 ) × 1040( 高さ ) | | | | 370( 横 ) × 420( 縦 ) × 1140( 高さ ) | | | |
| 商品重量 | 約 39kg | | | | 約 40kg | | | |
| 電源 | 自己発電式<br>（※注 1）専用リチウム電池付 | | AC100V　50/60Hz | | 自己発電式<br>（※注 1）専用リチウム電池付 | | AC100V　50/60Hz | |
| 消費電力 | 常時 4W 以下　バルブ作動時 8W 以下 | | | | | | | |
| 感知距離 | 200㎜～ 400㎜で 4 段階調整可能（出荷時 400mm） | | | | | | | |
| 感知幅 | 約φ 200㎜ | | | | | | | |
| 使用周囲温度 | 0 ～ 40℃　※寒冷地には対応しておりません。 | | | | | | | |
| 給水圧力 | 最低必要圧力：0.07MPa( 流動圧 )、最高水圧：0.75MPa( 静水圧 ) | | | | | | | |
| 給水接続ねじ | PJ1/2（Rc1/2 と接続してください） | | | | | | | |
| 排水接続口径 | VU50、<br>VP50 | LP50 | VU50、<br>VP50 | LP50 | VU50、<br>VP50 | LP50 | VU50、<br>VP50 | LP50 |
| 予備洗浄 | 1. あり、 2. なし　より選択可能 ( 出荷時は 1 に設定 ) | | | | | | | |
| 本洗浄 | 1. スーパー AI 節水モード　：0.8 ～ 2L（出荷時）<br>2.AI 節水モード　：2 ～ 4L<br>3. 固定モード　：4L 固定 | | | | | | | |
| 設備保護洗浄 | 1. スーパー AI 節水モード　：2 時間連続して使用者がない場合、自動的に 2L 洗浄 ( 出荷時は 1 に設定 )<br>2. AI 節水モード、固定モード　：8 時間連続して使用者がない場合、自動的に 4L 洗浄<br>※ この他に節水機能に関係なく、「2 時間毎 4L 洗浄」、「24 時間毎 4L 洗浄」、「しない」にも設定できます。ただし「24 時間毎 4L 洗浄」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなり、尿臭を感じる恐れがあります。またアクエナジー式の場合、発電量が減少してしまうため、専用リチウム電池の消耗が早くなります。 | | | | | | | |
| その他の<br>節水機能 | ・本洗浄中に使用者を感知すると洗浄を中止。<br>・感知後 4 秒以内に非感知の場合、本洗浄なし。 | | | | | | | |
| 掃除機能 | 別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）で掃除洗浄ができます。<br>※ OK-3RC（掃除用リモコン）には対応していません。 | | | | | | | |
| 使用水 | 上水・中水（※注 2） | | | | | | | |

※注 1：バックアップ用リチウム電池（品番：A-4025）の寿命は使用状況により異なります。器具保護のため、最長でも 4 年を目安に交換してください。

※注 2：中水でご使用の場合は以下の点に注意してください。
本製品は中水でご使用いただけるように、腐食しにくい仕様となっております。
ただし、ゴミ・スケール等を多く含む再生水・雑用水等を使用の場合には、ゴミ除去等の処理を行ってください。
※中水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：http://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush_cs/

# アフターサービスについて

## ■修理を依頼される前に

商品が故障したら「修理を依頼される前に」（P.23）を参照してください。それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談センターにご相談ください。なお、不具合でなくても下記の場合は必ずご相談ください。そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。

・取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

**⚠ 警告**

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

## ■保証書をご覧ください

保証書（裏表紙）をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。
※保証書は、販売店で所定事項を記入してからお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
※なお、保証期間中でも有料修理となる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

## ■修理を依頼されるとき

**【保証期間中の修理】**

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

**【保証期間経過後の修理】**

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

**【連絡していただきたい内容】**

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 商品品番（U-A51・U-A31）
3. 製造番号（商品の向かって左下側面に貼ってあります）
4. ご購入日（裏表紙の保証書をご覧ください）
5. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
6. 訪問ご希望日

## ■補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後 10 年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
・ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの
・温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋ 出張料 ＋ 部品代（交換した場合）です。

## ■商品について不明な点、およびアフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談センターにご相談ください。

## 使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

**TEL 0120-179-400**
**FAX 0120-179-430**

受付時間　平日　　9:00 ～ 18:00
　　土・日・祝日　9:00 ～ 17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

## 修理のご依頼は

お求めの取扱店または
LIXIL 修理受付センター

**TEL 0120-179-411**
**FAX 0120-179-456**

受付時間 9:00 ～ 20:00（365 日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

| 品名：センサー一体形ストール小便器　（品番：　　） | | |
|---|---|---|
| 保証期間<br>取付日より２ヶ年 | | 取付日<br>年　月　日 |
| お客さま | おなまえ<br>様<br>おところ<br>おでんわ<br>（　　）　ー | 取扱店名<br>TEL（　　）　ー |

無効

**お客さまへ**
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定（保証規定）

1. ［取扱説明書］・［ラベル］などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   ⑴ 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   ⑵ 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
   ⑶ お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   ⑷ 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   ⑸ 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   ⑹ 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
   ⑺ 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   ⑻ 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   ⑼ 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
   ⑽ 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   ⑾ 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   ⑿ 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
   ⒀ 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   ⒁ 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   ⒂ 給水・給湯配管の、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   ⒃ ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
   ⒄ 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   ⒅ 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 10 ケ年です。


**商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで**

**TEL 0120-179-400**
**FAX 0120-179-430**

受付時間　平日　9:00 ～ 18:00
土・日・祝日　9:00 ～ 17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL　0562-40-4050
FAX　0562-40-4053

**修理のご依頼は LIXIL 修理受付センターまで**

**TEL 0120-179-411**
**FAX 0120-179-456**

受付時間 9:00 ～ 20:00（365 日受付＆修理）

**株式会社 LIXIL**
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/


GSW-1015(14020)